

第37回ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会
議事録

2025(令和7)年1月30日(木)
10:00~12:00
市役所 505 会議室

■出席者

1. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会

会 長:小根山裕之会長(東京都立大学都市環境学部都市基盤環境コース教授)

副会長:橘弘志副会長(実践女子大学生活科学部生活環境学科教授)

委 員: 有山一博(日野市聴覚障害者協会会長)

富田正俊(日野市視覚障害者協会会長)

富張理子(知的障害者相談員)

早川裕子(市民サポートセンター日野副理事長)

藤田博文(自立生活センター日野)

矢野郁子(日野市老人クラブ連合会会長)

臼井恵一(公募市民)

田村功(公募市民)

土田みゆき(公募市民)

遠藤幹夫(日野市商工会 事務局長)

田中圭(独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部ストック事業推進部
事業第3課長)

三好 毅(日野市社会福祉協議会事務局長)

2. 日野市

まちづくり部長 岡田正和

健康福祉部長 萩原美和子 ※欠席

企画部長 赤久保洋司 ※欠席

(幹線市道Ⅱ-48号線の道路改良 担当部署) まちづくり部道路課 小俣課長、本多主事

3. 事務局

日野市まちづくり部都市計画課交通政策係 浅川課長、林係長、川上主事、亀之園主事

■次第

1. 開会

2. 前回協議会のご意見と対応

3. 審議事項

(1)令和 7 年度日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の実施

4. 報告事項

(1)幹線市道Ⅱ-48 号線の道路改良検討状況

(2)令和 6 年度第三次日野市バリアフリー特定事業計画 進行管理会議

(3)その他

5. 今後の予定

(1)次回の開催時期と内容案について

6. 閉会

■配布資料

①次第

②資料 1 パワーポイントを印刷した資料

③資料 2 名簿

④資料 3 令和 7 年度 日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰(案)

⑤資料 4 令和 7 年度 日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰ポスター(案)

⑥資料 5 令和 6 年度 進行管理会議資料

■議事要旨

1. 開会

2. 前回協議会のご意見と対応

(事務局が資料 1 について説明)

会長:今の内容についてご意見、ご質問を受け付ける。

委員:準備が整い次第設置するとのことだが、いつ頃になるのか。

事務局:1 月中に設置をすると聞き、設置するには表示を都市計画課に事前に確認してほしいと
お願いをしているが、現時点で案も出ていない。催促をして 2 月中には設置ができるよう
に努めたい。

会長:そのような形でできるだけ早めに進めていただきたい。他にはいかがか。

委員:市役所に行く前にインターネットなどで日野市の HP などを見て、どこに車椅子使用者用駐車
場があるかを調べると思う。これを HP に載せる予定はあるか。

事務局:HP には市の施設ごとに車いす使用者用駐車場の有無は示しており、市役所においては駐
車場の全体の図はあるが、どこに車いす使用者用駐車場があるかまでは表示していない。
そのため、HP に車いす使用者用駐車場の有無だけではなく、どこにあるかわかるように表
示をすべきであることを財産管理課へ伝える。

会長:他にはよろしいか。ではここでの意見を反映し、少しずつでも改善されているのは非常にいい
ことかと思うので、引き続きよろしく願いしたい。

3. 審議事項

(1)令和 7 年度日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の実施

(事務局が資料 1 の続きを説明)

会長:今の内容についてご意見、ご質問を受け付ける。

委員:令和 6 年度に応募がなかったということは、ユニバーサルデザインという言葉自体がまだまだ
皆さんに浸透してないのではないかとということがあると思う。ポスターも硬い感じがして、もう
少しとっつきやすいポスターの方がいいのではないか。字が多く、これまでの受賞者を載せる
のも手かもしれないが、もう少しユニバーサルデザインってこういうものなんだよということを
強調して、市民の方にわかりやすいような形で候補者の募集をした方がいい。

会長:ありがとうございます。後でまとめて事務局から対応だったりご回答いただくようにしたいと思
う。ほかにご意見等があれば受け付ける。

委員:委員がおっしゃったとおり、こちらのポスター案は読んでみると真面目すぎるイメージ。もう少

し柔らかく市民の皆さんがわかりやすくやさしい言葉を使っていたきたい。

また、候補者募集とあるがなかなかイメージがつきにくい。別の言葉があるといいが、障害者が見てもわかりやすいような文面、やさしい日本語を使っていると、皆さんの理解が進むのではないかと思う。ユニバーサルデザインとはどういう意味なのかという簡単な説明を工夫していただければありがたい。

委員：サイネージ掲示とはどういうものか説明していただきたい。

事務局：説明が不足しており申し訳ございませんでした。市役所内においては、東側エレベーターの横にテレビ画面のようなモニターがあり、これに例えばポスターの絵などが出てくるもの。イオンでは案内所の裏に高さ 170cm ほどの 3 台くらいのモニターがあり、ここに市の情報などが表示され、5 秒ぐらいで切り替わるもの。

委員：私はイオンのフードコート内でサイネージ掲示を拝見したことがあり、オレンジ色の表紙デザインを知っていたので遠くから見てわかったが、先ほどもご意見があったがユニバーサルデザインという言葉自体がまだ世の中に浸透されていないという実感があるのでこの掲示を見てもどういった募集をしているかが気づきにくいと感じる。

委員：この功労者表彰は何年も前から続けていて、例えばこれまでの受賞者として高幡不動尊が施設整備をしていると載せているが、施設整備での受賞はどの部分がどう変わってどんなメリットがあるかわかると、この表彰を受けることのメリットを感じていただけたらと思う。できれば表彰されたところにたくさんの市民の方が訪れてくれるような功労者表彰であってほしいと思うし、製品開発も QR コードを読み取るとその製品が販売されているところにアクセスできる形でもよいと感じた。

会長：私の方から感想を含めて意見を述べる。やはりユニバーサルデザインの活動を実際に前線で活躍されている方はおそらく表彰されたくてやってるわけではないので自薦はなかなかないのでは。そうすると他薦を沢山いただけるような状況にするのがよいと考え、このポスター一案を見ても書いてない。他薦も募集していることがわかるようにした方がよい。ただ、候補者募集や、資料をまとめて応募してくださいというのはハードルが高いので、こんないいこと

をやっている人がいますよという情報だけだったら寄せやすいと思う。その時はその方に推薦者になっていただくこともあるかもしれないし、そのハードルが高ければ市のほうで調べて推薦するのも1つの手かと思う。また、自薦について、おそらくメリットを一番感じるのは製品開発をしている企業。先ほどの周知先や周知方法を見ても産業系が入っていないので、例えば市の産業系に話を通し、何かの機会にPRするのも手かと思う。

副会長:ポスターについてはいろいろご意見があり、情報が足りないこともあるが、おそらく目立ちにくく、ポスターがいろいろ貼ってある中にあっても見過ごしそう。メリハリを付けばっと見て伝わってくるデザインを考えられるといいと思う。日野市の中だけでは難しければ、例えば大学の学生の力も使ってデザインを考えてみるのも面白いと思った。

委員:先ほど会長からお話があった意見から、産業系の部署としてお話すると、やはり自薦で出るのはハードルが高いと思う。努力して自主的にユニバーサルデザインを推進するというより、自然にユニバーサルデザインを取り入れているという事業所さんはあると思う。推薦ではなく、市民の方がユニバーサルデザインを取り入れている事業所さんがわかれば、こういう表彰があるかどうかと声をかけ募集が進みやすいと感じた。またこのポスターは市民向けのイメージで、事業所向けの周知ではないのであれば、募集方法も市民の方々の他薦から募集をしますとした方がわかりやすいと感じた。

会長:令和7年度の表彰に向けていかに応募を増やしていくかいろいろな観点でご意見いただいた。やはり一番多かったのは広報がわかりにくい、ポスターは硬いとか表現がとっつきにくいという意見。あるいはそもそもユニバーサルデザインという言葉自体が浸透していないのではないかというところで、まずはチラシなどでユニバーサルデザインを浸透させるようなデザインを考えていくべきという話があった。また、私が申し上げたところでもあるが、自薦は難しいと思うので、他薦をいかに引き込んでいくかという点でチラシも含めて周知すること、また受賞のメリットを感じてもらえるような仕組み。チラシに関しては学生を巻き込んで作成することを考えてみてはという非常にいいご意見をいただいた。これについて事務局から見解をいただければと思う。

事務局：貴重な意見ありがとうございます。ポスターやチラシの作成はいつも悩み、例えば電車の駅のポスターは皆さんおそらく立ち止まって見ないので、あまり情報をたくさん入れても意味がないとなる。ユニバーサルデザイン自体が浸透してないところもあるので、皆さんにいただいたご意見を事務局の方で改めて考えたい。硬いというイメージについては、市役所としてあまり柔らかなものを作るとそれはそれでお叱りを受けたりするので、ポスターやチラシの作り方は非常に悩む。ただ、学生さんと一緒には今までやったことがないので、先生とも相談させていただきながら検討していきたい。ポスターは少なくとも4月の中旬には掲示したいと思っているので、ポスター案は改定するが、改めて皆さんにご意見をいただくのは難しいので、申し訳ございませんが事務局と会長・副会長の方に一任いただくことにご理解いただければと思う。

会長：今皆様から頂いたご意見も踏まえて事務局とやらせていただければと思う。よろしくお願いたい。また学生と考えるのはスケジュール的に来年度取り入れていくのは難しいと認識しているが、それ以降に例えば橘先生のところの学生さんとや、日野市だと都立大の日野キャンパスにデザイン系の学科もあるので、そういったところとのコラボは考えられると思う。また時間をかけながらいろいろと話をさせていただきたい。

4.報告事項

(1)幹線市道Ⅱ-48号線の道路改良検討状況

(事務局が資料1について説明)

会長：今の内容についてご意見、ご質問を受け付ける。

委員：先ほどの表彰募集でもユニバーサルデザインという言葉が浸透していないという意見があったが、例えばこの対象路線はユニバーサルデザインに基づく道路であることの標識を立て少しでもユニバーサルデザインっていうことを浸透させるようなことをした方がよいと思う。飛び出し危険も大事だが、高幡不動尊のスロープもユニバーサルデザインに基づく整備だという立て看板などから周知することも検討していただきたい。

事務局:市民の方が活動されている身近なところにユニバーサルデザインという表記があれば浸透するというご意見は大変参考になる。ただし道路への看板の設置や高幡不動尊への設置は管理者の意向もあると思うので、可能な限り働きかける。ただ工事以外でも掲載できる箇所はないか検討したいと思う。

日野市:水道工事の看板で、この工事は水道の耐震化を目的にやっていますなどと表示していたりもするので、例えば工事中の看板にユニバーサルデザインを目指した改良工事と表示することもあると思うので、検討したい。

会長:目につく所という非常にいいご意見をいただいたと思う。可能なところ、できない所とあるかと思うが、参考に取り組みをしていただければと思う。他にはいかがか。

委員:飛び出し注意の表示だが、子どもがこれを見てわかるか、漢字が読めるのかと思う。「注意」にはルビを付けるとか、危険であることが子どもたちが見てわかるような絵やイラストを使って、子どもが見てもわかるような工夫が必要だと思う。

事務局:注意喚起の表示を緑と清流課に伝えたところこのような看板となった。小さい子供は漢字は読めず、ひらがなも読めない子どももいると思う。見てわかりやすい表示をと緑と清流課には伝えたが、今回は暫定的整備ということでご理解いただいて、もう一度緑と清流課に話し工夫したいと思う。

委員:もうすでにこの掲示は立っているのか。先ほどその辺を歩いたが、この横断歩道の辺りには気が付かなかった。

事務局:もうすでに設置している。ただ、表示がわからなかったということは、設置した意味がないということにつながるので、先ほどお話をさせていただいた通り、改めて工夫していきたいと思う。

委員:表示が目立ちにくいという話だが、スーパーに買い物へ行くと前に道路があつて横断歩道があるところに子ども飛び出し注意という看板が設置されているのを見かける。子どもが飛び出すようなイラストが設置されていて、現在公園にある看板より一回り大きいぐらいだが、目立つとまでは言えないと個人的に感じている。道路へ飛び出さないような工夫が看板以外でないかと考えているが、今の時点では思い浮かばない。

委員：色んな所で看板を見かけるが、危ないですよとただ立っているだけ。日野市はどう考えているかわからないが、公園にくぼみがあり水が流れてきて危ないと緑と清流課にお願いしたら、ここは危ないですよという三角コーンを立てただけで何の手立てもしよとしなかった。立てればいいというものではない。また子どもはこういう看板があっても飛び出してしまうのは、家庭でのしつけもあるのではと思っている。子どもに絶対に飛び出してはいけないことを家庭の中で指導していくことも必要。看板だけには頼れないので、特にお子さんの飛び出しについてはご家庭でもしっかり指導していきたい。また、私は老人クラブで活動しているが老人というのは子どもよりもっと厄介。と言いますのは、自分が渡ろうと思ったら左右全然見ないでとにかく渡ってしまう、横断歩道以外のところでも老人は渡ってしまう。注意喚起の看板だけでは子どもたちは夢中になっているので注意になるか、立てればいいというものではないことを申し上げたい。

事務局：飛び出しにくい施設の整備はやらなければいけないことと分かっているが、なかなかその整備までできないので、今のところ注意喚起の看板を立てたという状況。色んな委員の方からご意見いただきましたので、もう一度検討して対応していきたい。

会長：あくまでも暫定的な整備で、看板だけで全てが解決するわけではない、やはりまずは注意喚起をして注意を促すと。本質的な解決策、完璧な解決策はないのだろうと思うが、できるだけこういった飛び出しが起きないようにというのは今後検討いただくと良いと思う。

(2)令和6年度第三次日野市バリアフリー特定事業計画 進行管理会議

(事務局から資料1の続きを説明)

(出席した会長、副会長よりご感想をいただく)

会長：私は司会進行をさせていただいたが、これまでの一通りの表面的な報告をやって終わりというものに比べると、より深く事業者からの具体的な実施事例と、それに対して他の方からのフィードバックがあり会議として盛り上がったと思う。一方で民間事業者の出席率はあまり変わってないので、その点はもう少し検討をしていただき出席率を上げることが課題。当日資料を共

有しているが、それ以外のやり方を含めて当日出た内容をどう欠席事業者に共有するのか検討が必要だと考えている。

副会長:私も同じように、これまでは口頭のみ報告が事業者の方からあり、それに対して特に意見や質問などもなく終わっており、出席しても進捗状況が思わしくないところは出づらいという感じがあった。今回は具体的にご説明いただいたり、それに対して同業他社さんなどからいろんな意見が交わされ、今までにないような役に立つ情報だけではなく気持ちの共有もできた気がし、その場に来ることの意味が深まった会になったのではと思う。今回初めてやったということで、出席することの有効性や意義が少しずつ伝わっていくと、民間の方も出てみようかなという動きも出てくると思う。当日の資料だけではなく、その場で色んな意見のやり取りも共有できると、こういうことも聞いてみたいなど、それぞれの事業者の考えが伝わるようになるのではと思った。

会長:ありがとうございます。進行管理会議についての報告があって、我々の感想や意見も含めてご意見・ご質問等いただければと思うがいかがか。

委員:今、会長・副会長の言葉を拝聴し、やっと推進会議らしくなったという印象を受けた。今後とも進捗状況は報告をしていただきたい。先ほども説明にあったが、50%未満の進捗状況の事業が何でそうなっているのかを簡潔に書いていただければ納得する。令和4年から13年度までの事業はすでに市民の皆さんや市議会でも了承されていることか。予算との関係も心配している。計画はつくったが絵にかいた餅にならないようきちんとやっていただけないかなど。

事務局:今会長・副会長からいただいた通り、今までにはないいろんなご意見をいただいて実のある会議になったと思っている。進捗率が悪いのはそれぞれ事情がある。何で進まないのかというご意見も皆さんからいただいているが、予算的なものが一番大きいと思う。また、進捗率90.3%の継続事業は基本的に教育や啓発で、特に係員研修が事業。各事業者にどのようなことをやっているか具体的に説明いただいたが、事業者によっては研修をどうやったらいいかわからないというご意見もあったので、会議に出席していただくことでどのような方法があるかを感じてもらえたと思う。

会長:いただいた意見を踏まえて少しでも改善していただければと思う。

委員:進行管理会議の議事録は書いているのか。それは各委員のところに届いているのか、それともホームページに掲載しているのか。出席していない方が見ることができれば、こんな意見が出たんだ、自分もこれには同感だ、などの気持ちを持ち、次回は出て自分も意見を言ってみたいと思われるかもしれないと思ってお聞きした。

会長:議事録や、資料だけではなく結果のフィードバックはどうされているのか。

事務局:議事録は作成しているが、現在のところ公開していない。理由としては事業者に出席いただいて忌憚のないご意見や事業者の状況を心置きなくお話いただきたく、公開することを前提としている会議ではないため。ただ、欠席された事業者への共有はできていなかったのも、次回以降は会議の中で出た意見で他の事業者にも聞いていただきたい内容をまとめ、欠席事業者にフィードバックできるようにしたいと考えている。

会長:その点は非常に重要なところだと思うので、お願いしたい。先ほどの話の中で事業進捗がどういう状況なのかを確認をしているが、進捗率という数字だけが独り歩きしているのは非常に危険だと思っている。例えば数字だけを見ると道路特定事業 28.4%はけしからんという数字に見えるが、先ほど説明いただいた通り事業が進んでいないわけではなく、計画の通りに実施して現時点で完了しているものの数字というだけ。やはり計画通り進んでいるのかが非常に重要であり、それぞれの事業に責任を持つのは各事業者だと思うので、事業者が計画を踏まえて行っていただくということをことあるごとに再認識していただきながら事業の中に取り込んでいただくのが重要だと思う。それがこの進行管理会議の役割であり、それを促す会議であり、そういったきっかけにできればいい。あくまでもこの進捗状況や数値に惑わされないようにしないといけない。資料の中の数字で、例えば進捗率が低いのはこういった要因があるなどの考察を加えて次に進めて行けるよう、数字が独り歩きしないような資料にさせていただくと思う。いずれにしてもこの計画に従って各事業者さんに進めていただき、それを後押しするのが進行管理会議の役割だと思うので、今後も続けていけるとよいと思っている。

委員:以前私自分の生活圏域の中で用水路脇の道路が陥没している箇所があり、それを日野市の

ツールを使って投稿し、すぐに応急処置として砂等で穴を埋めていただき、非常に歩きやすくなったところがあったが、雨風ですぐ砂が飛んでしまった。その後やはり同じような穴が再現するようになっている。道路の補修は日野市内の主要幹線道路や重点整備地区内を中心に予算を充てていき、市民から声が上がった時には予算を回す優先順位は下がるかもしれないが、市民からの声を拾うツールを周知していただき、ニーズも含めて事業計画の中に取り入れ、進行管理会議の中でも整備されたという報告もしていただくと街全体が良くなるのではと感じた。

会長：ぜひそういった仕組みをしっかりと作っていく、あるいはそれを活用しながら次の進行管理会議の中でフィードバックできるように考えていければいいと思う。

日野市：道路の投稿システムは道路課で導入しており、街路灯が付かないなどの道路の不具合を気軽に投稿してもらおうようなシステム。市としてもできるだけ早く対応できるようにというもので、委員がおっしゃっていただいた通り応急的な処置に留まってしまうことはあるが、情報を活かしながら整備していく。本格的に整備する箇所は選んでいきたいが、進行管理会議のような場でも市として道路が少しでも使いやすく改善しやすいようシステムを作っていることは紹介できればと思うので、ご意見を参考に取り入れてまいりたい。

(3)その他

(事務局から資料1の続きを説明)

会長：今の内容についてご意見、ご質問を受け付ける。

委員：京王電鉄がホームドアの整備予定を発表した。多摩動物公園駅は無人となったので早めにホームドアを付けた方がいいと思っているが、2030年以降のかなり遅い予定になっていた。改めて要望した方がいいか、京王電鉄に聞いた方がいいか考え中。

事務局：多摩動物公園駅は駅員がいなくなって約1年経とうとしている。この間京王電鉄はインターホンなどの改良を重ねて対応していただいたが、無人化という問題は解決できていない。市としてもホームドアの整備をなるべく早めにと要望していた。令和5年12月に日野市の副市

長が、私も含めて京王電鉄へ行きホームドアの整備、多摩動物公園駅の整備を求めたが
良い返事はなかった。京王電鉄いわく乗降客数の多いところから整備せざるを得ないとの
ことだったが、多摩動物公園駅は駅員がいないので早急にホームドアの整備をということを
市としてはお伝えさせていただいた。だが委員がおっしゃったとおり、京王からの発表では
多摩動物公園駅の優先順位は非常に低い状況になっている。これを見て市からもすぐに整
備していただけるように改めて要望したいと思っているところ。

委員：市役所バス停の屋根に関し、建蔽率について数字はどうかと質問したが、それは資料としてあ
るか。

事務局：今数字を精査してもらっている。所管が他の部署であるが、数字を精査しないと発表できる
ものではないという話があった。微妙な数字を公表する精査が必要とのことだったので、精
査しているところ。ただ少なくともバス停の上屋という屋根を整備するだけの余裕はないと
は聞いている。

委員：前からその話は伺っているのですが、数字はいくつかと質問させていただいた。それが今出てこな
いのであれば、数字の中に納まるのではないかと勘ぐってしまう。それは出てから検討してい
ただければと思うが、例えば市役所へのアプローチの庇のようなところを一部撤去してシェル
ターにするなど、そういった切り替えを考えていただいてもいいのかなと思う。それには当然
いろいろな市民から意見もあるだろうが、シェルターが有効なのか、アプローチの雨の庇が
有効なのかということも考えていただき柔軟な対応をしていただければありがたい。ぜひ
次回には数字をいただきたい。

事務局：それぞれ市役所の部署や、市民にとっても優先順位は違うので、何を最優先に考えればい
いのかは非常に悩ましい。今のところ都市計画課として何が一番なのかは申し上げられな
い状況で、市全体で検討していかなければならないと思っている。ただバス停の上屋に関し
てはユニバーサルデザインの施設でないので、日野市 UD 事業として優先すべき案件では
ないと思っている。バス停はユニバーサルデザインの施設ではなく、雨除けの施設であり、
UD 事業の中で優先すべきところは他にもあると思っている。いずれにしても庁内で検討し

て優先順位をつけて考えていきたい。

委員:優先順位が低い、ユニバーサルデザインの事業ではないとは残念な発言だったととらえさせていただく。

会長:ユニバーサルデザインになるかならないかはいろんなご意見があるかと思うので、そういった意見を踏まえて検討していただけたらと思う。他にはいかがか。

委員:ホームドアの話について京王電鉄へ働きかけているとのことだが、そもそもホームドアがつきにくいのは予算的な部分か。ホームドアの設置に対して莫大な費用がかかることは知っているが、京王線は他の駅も含め設置が遅れていると伺ったことがある。JRなどは設置が進んでいる印象がある。多摩動物公園駅は平日の利用者数が土日、週末に比べると低いかもしれないが、個人的にはコロナ禍辺りから平日も動物園の利用が以前より増えている印象がある。多摩動物公園駅はホームドアを今すぐ設置するのが難しいのであれば、別の安全対策を考えていただけたらありがたい。

事務局:ホームドアの整備が遅れている理由は京王電鉄の予算が大きい。京王電鉄や JR がホームドアを整備するときには市からも基本的には補助金を出すと決めているので、早急に整備していただくように常日頃からお願いをしている。京王電鉄へは、ホームドアの整備はかなりお金かかるので代替案として転落防止柵(1m ぐらいの柵で、電車の出入り口だけは開いているもの)でもいいので整備してほしいと話をしているが、今の多摩動物公園駅のホームは構造上の理由から整備ができないと伺っている。京王電鉄としてもインターホンの整備の工夫などはしていただいているが、障害者の方から伺うのは、やはり人がいないと対応しきれないという話なので、それも含めて無人化をやめてもらうように話をしている。繰り返しになるが、改めて京王電鉄へ申し入れをしていきたいと思う。

5. 今後の予定

委員:意見なし

6. 閉会